

■ 第2期まちづくり地区護岸バリエーション (50m) について  
(第28回護岸検討委員会資料一部再掲)

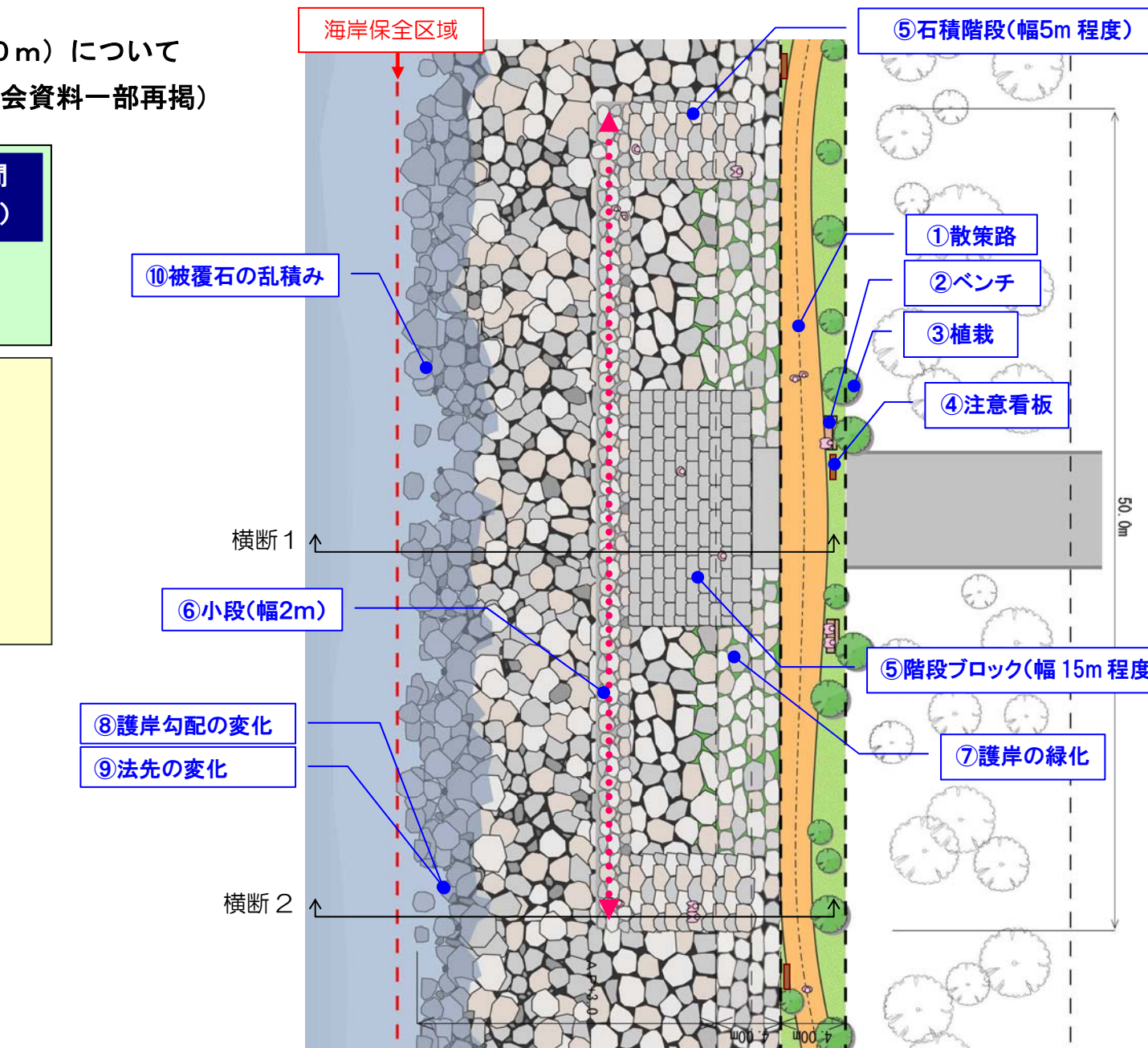
【整備コンセプト】 人の水際利用の利便性に配慮した空間  
(小段とアクセスしやすい階段)

- ・背後地からのアクセス道部分(中央部)に階段ブロックを配置
- ・小段を設け、水際での連続的な利用に配慮

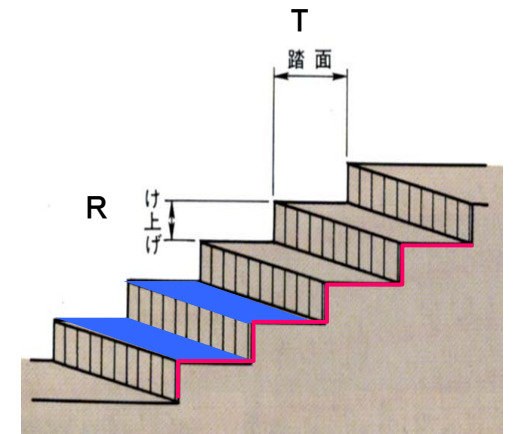
【導入した機能】

- ①散策路
- ②ベンチ
- ③天端の植栽
- ④安全対策の施設(注意看板)
- ⑤水際へのアプローチ(石積み階段2箇所、階段ブロック1箇所)
- ⑥水際の歩行空間(小段)
- ⑦護岸の緑化
- ⑧護岸勾配(潮間帯)の変化
- ⑨法先の変化
- ⑩被覆石の乱積み

整備事例(習志野茜浜)

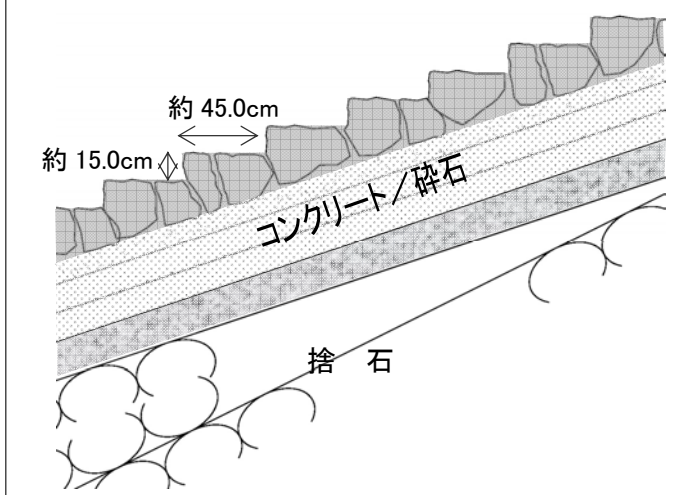
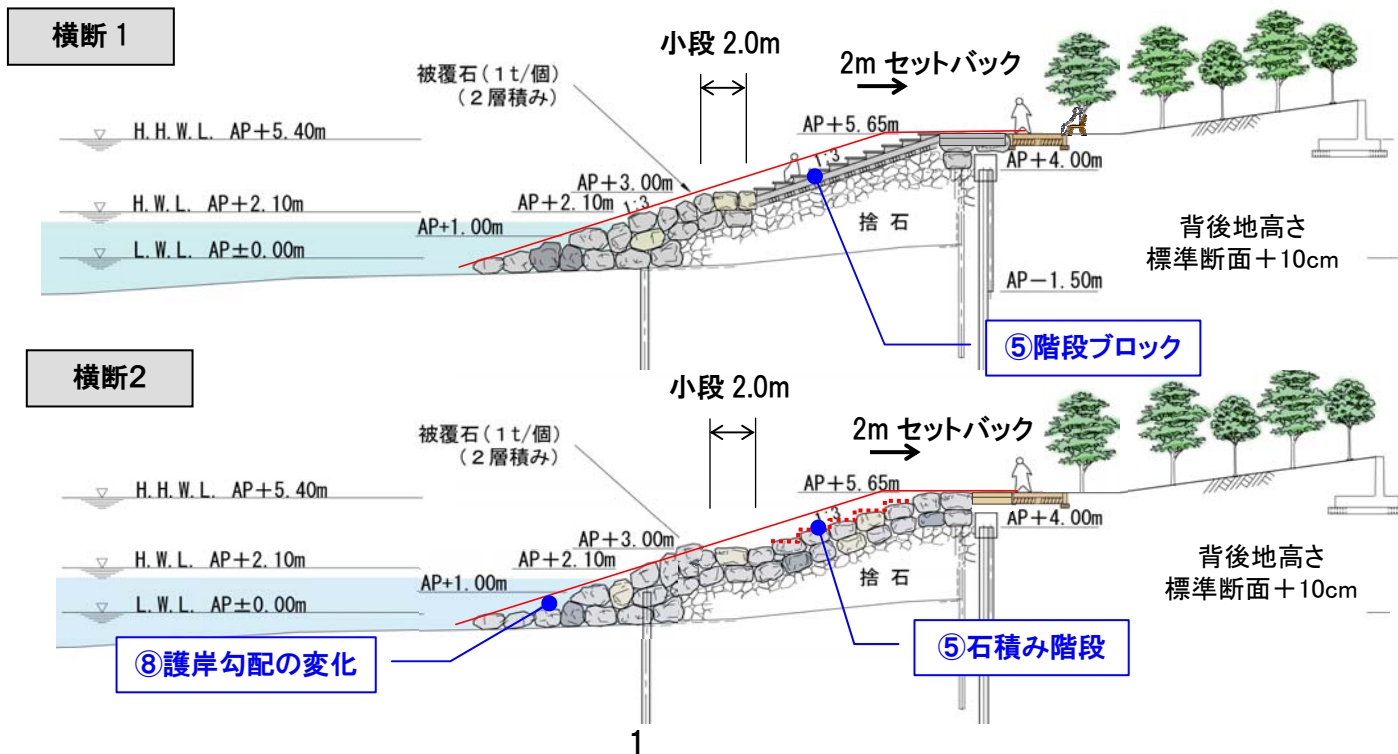


石積み階段  
(参考) 昇り降りしやすい階段形状(バリアフリー基準)



勾配	成人					
	2R+T=65		2R+T=60		2R+T=57	
	R	T	R	T	R	T
1:1.0	21.7	21.7	20.0	20.0	19.0	19.0
1:1.5	18.6	27.9	17.1	25.7	16.3	24.4
1:2.0	16.3	32.5	15.0	30.0	14.3	28.5
1:2.5	14.4	36.1	13.3	33.3	12.7	31.7
1:3.0	13.0	39.0	12.0	36.0	11.4	34.2

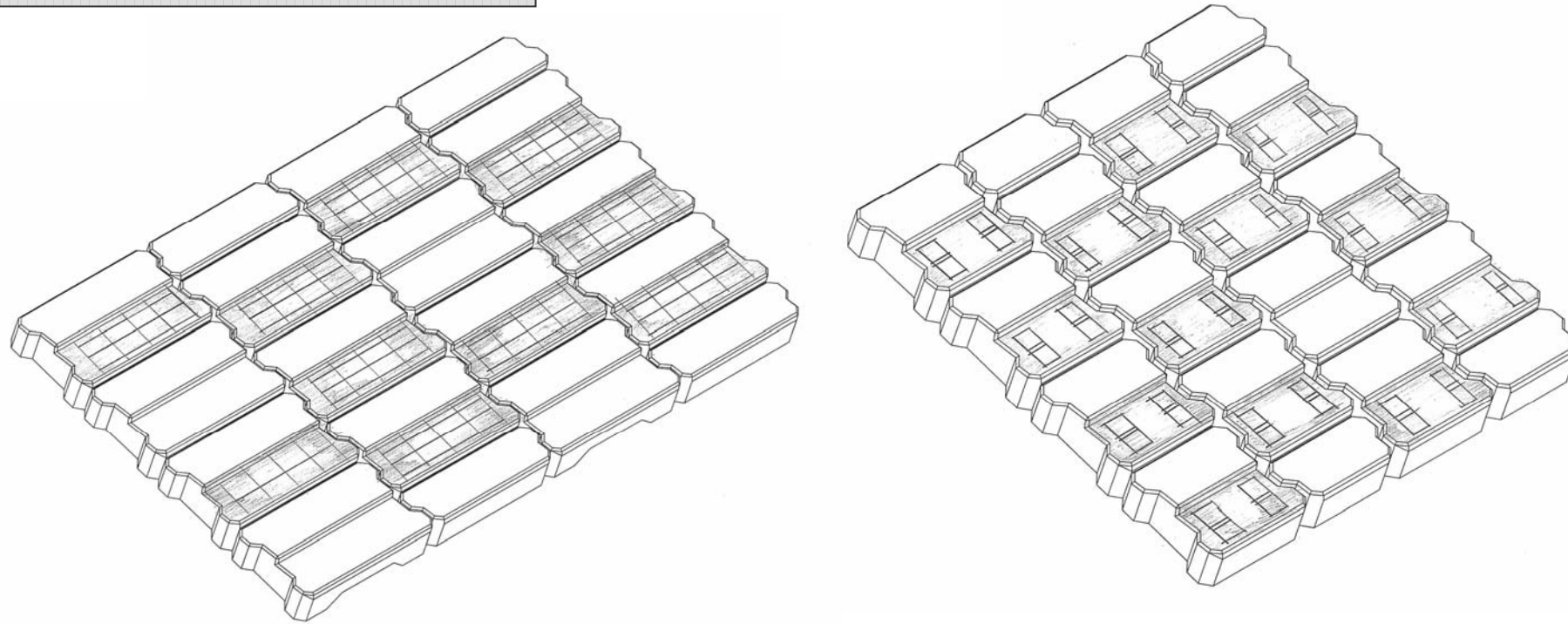
出典: 川の親水プランとデザイン  
(財)リバーフロント整備センター



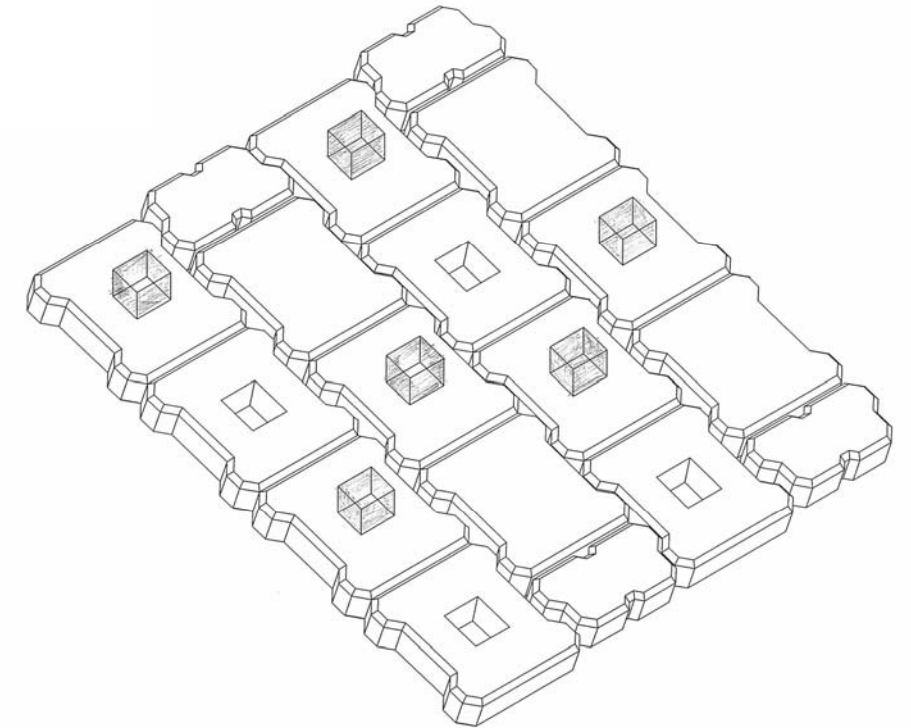
## ■ 階段ブロックについて

階段ブロックについては、構造の安定性、利用者の安全性、景観、三番瀬のオリジナリティに配慮したデザインを基本に、以下に示した参考デザインを基に整備する方針とする。

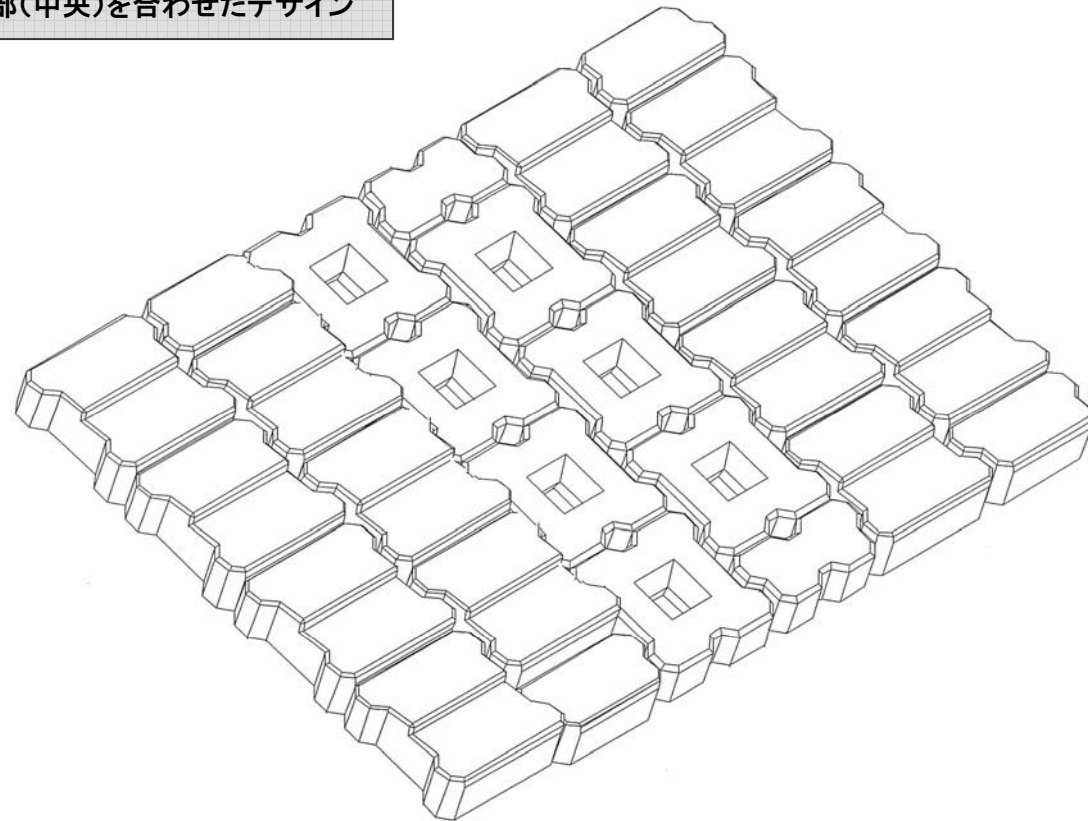
ブロック表面にレンガ等を埋め込んだデザイン



ブロック表面に自然石等を配置したデザイン



階段部と斜面部(中央)を合わせたデザイン



階段部と斜面部(中央)を合わせたデザイン(階段部に装飾するパターン)

